

新潟支部 各自治体へ海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ

村上市への申し入れ

1月14日に村上市への申し入れを行い、粟島汽船株式会社の天井和也船長、本保越洋機関長が同行し、高橋邦芳村上市長にご対応いただいた。

はじめに浅野忠行新潟支部長から申し入れ文書を高橋市長に手交し、地域課題である粟島航路の維持・存続に向けた実効ある支援措置と小学生を体験乗船させるための協力を要請した。

高橋市長からは、粟島航路は島民の重要な交通インフラであり、フェリーの運航に必要な船員確保に向け、船の魅力が感じられるような取り組みを検討したいとの考え方が示された。

新潟県への申し入れ

1月29日に新潟県に申し入れを行い、佐渡汽船株式会社の中川貴史職場委員、木村浩明職場委員、組合政治参与の渡辺和光県議会議員、上杉知之新潟県議会議員に同行していただき、濱口信彦交通政策局長にご対応いただいた。

はじめに浅野新潟支部長から申し入れ文書を手交し、地域課題として佐渡航路における船舶の代替建造への支援、離島振興法に基づく自治体から支援措置の拡充を要望した。職場委員からは船員の確保に向けた積極的な対応、将来的に代替建造を検討すべきジェットフォイルの建造への支援を求めた。

新潟市への申し入れ

1月29日に新潟市へ申し入れを行い、佐渡汽船株式会社の中川貴史職場委員、木村浩明職場委員、高橋聡子新潟市議会議員、小柳聡新潟市議会議員に同行していただき、井崎規之新潟市副市長にご対応いただいた。

はじめに浅野新潟支部長から申し入れ文書を井崎副市長に手交し、インバウンドを含む観光旅客の利用促進、新潟港の活性化に向けた企業誘致やポートセールスの推進などを求めた。

井崎副市長からは、佐渡航路の玄関口として約8割が新潟市を經由していることから、佐渡の世界文化遺産登録を契機としたインバウンドを含めた観光誘致に向け、引き続き佐渡市と連携し取り組みを強化したい。また、航路維持に向けては事業内容などを関係自治体とも共有し可能な支援策を検討したいとの考え方が示された。

「海員だより」